

2/26 (木) その2

待ちに待った NASA 訪問の日。まずはボーイング社の宇宙関連の本部を訪問。ボーイング社からエンジニア、航空関連の職員の方に出てきていただき、ボーイング社の宇宙関連事業についてプレゼンテーションをしていただきました。同社は NASA と密接な関係にあり、サテライト、ロケット打ち上げシステム、国際宇宙ステーション、新型の無人飛行機など、様々な分野でボーイング社の技術が使われています。

そして、NASA のケネディ宇宙センターに到着。最初に、スペースシャトルとして活躍したアトランティスを見学した後、2 時間に及ぶバスツアーで、NASA のロケット発車台（ガントリー）や車両組立棟を見学。ロケット発車台では、かの有名なアポロ 11 号が発車したガントリーから、現在進行中のアルテミス計画まで、宇宙工学の進化を感じることができたツアーでした。

ツアー後は、NASA の植物学者である Natasha Haveman 氏による特別講演。Natasha 氏は、月や火星の土や砂、および国際宇宙ステーション内で植物がどのように育つかを研究されています。まさに、NASA はこれから、月や火星で植物を育てるための月面農場を検討しています。植物といってもサラダ、ハーブ、お花など色々な種類があり、また栽培方法も光の強さや色、水、空気などさまざまな要因によって、植物の成長にどんな違いが出るかについて実例を用いながら解説いただきました。遠い未来の話のように聞こえますが、自動運転や AI など他分野の進化が著しいことを踏まえると、実現にそう遠くはないと誰もが感じたのではないのでしょうか。

今回、講演して下さったボーイング社、NASA の皆様ありがとうございました。

